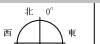


土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名		深谷通信所跡地土質調査委託				
事業名または工事名						
調査目的及び調査対象						
ボーリング名	B-1	調査位置	神奈川県横浜市泉区と泉町・中田町・深谷通信所跡地		北 緯	35° 23′ 37.8341"
発 注 機 関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和02年02月05日～令和02年02月10日		東 経	139° 30′ 0.1087"
孔 口 標 高	H= 42.26 m	角 度	方位	地盤勾配	使用機種	試験機
総 削 孔 長	36.00 m				ワイビーエム YBM-05	エンジン
					ポン プ	東邦地下工機 BG-3

標尺	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色相対対密度	相対密度	記 事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験										原位置試験	深 度 (m)	試 験 結 果	名 果	深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法	室 内 試 験	削 孔 月 日					
										N 値	深 度 (m)	100mmごとの の打撃回数			50 回 の 貫 入 量	自 沈 時 の 貫 入 量	深 度 (m)	試 験 結 果	名 果										深 度 (m)	試 料 番 号	採 取 方 法	室 内 試 験	削 孔 月 日
												0 100	100 200	200 300																			
1				埋土		暗褐色／暗灰褐色／暗褐色	9.1～12.1	粘性土を主体とする。 所々にコンクリート片および φ5mm程度の礫混入。 含水量中位。 GL-3m付近までローム主体。 GL-2.2～2.5m間、コンクリート ガラ混入。 GL-3m付近より暗灰褐色を示す。 GL-3m付近、粘土質シルト主 体。 GL-4m付近、砂質シルトを主 体とし、含水量や多い。 GL-5m付近より暗褐色を示す。 GL-5m付近、粘土質シルト主 体。 GL-6m付近、ロームを主体と し、φ2～5mm程度の重角礫を やや多く混入。	2/7 5.60	9.0	1.15	2	3	4	9										2/5								
2			1.45								5	55	60																				
3			2.15								5	55	60																				
4			2.30								50	150																					
5			3.15								2	1	2	5																			
6			3.45										300																				
7	35.46	6.80		凝灰質シルト		茶褐色／暗茶褐色／暗灰褐色／淡茶褐色／灰褐色／暗褐色	13.1～13.1	GL-9m付近まで含水量やや多 く、GL-10m付近より中位。 全体にスコリアおよびφ1～ 2mm程度の砂状軽石を混入。 砂分を不規則に含む。 色調不均一。 GL-8m付近より暗茶褐色を示 す。 GL-9m付近より暗灰褐色を示 す。 GL-10m付近より暗褐色を示 す。 GL-11m付近、淡茶褐～灰褐色 を示す。 GL-12m付近より粘土化する。 GL-13m付近より暗褐色を示 す。 GL-13m付近より砂状軽石の混 入量やや多い。	2/7 5.60	5.0	4.15	1	1	1	3																		
8			4.45										300																				
9			5.15								3	2	1	6																			
10			5.45										300																				
11			6.15										300																				
12			6.45								6	2	3	11																			
13			7.15										300																				
14			7.45								3	2	2	7																			
15			8.15										300																				
16			8.45								2	2	3	7																			
17			9.15										300																				
18			9.45								1	2	4	7																			
19			10.15										300																				
20			10.45								3	3	5	11																			
21			11.15			300																											
22			11.45	3	3	2	8																										
23			12.15			300																											
24			12.45	2	2	2	6																										
25			13.15			300																											
26			13.45	1	1	1	3																										
27			14.15			300																											
28			14.45	2	2	2	6																										
29			15.15			300																											
30			15.45	6	9	8	23																										
31			16.15			300																											
32			16.28	40	20	60																											
33			16.28	30	130																												
34			17.15	42	18	60																											
35			17.29	40	140																												
36			18.15	28	32	60																											
37			18.35		200																												
38			19.15	25	26	9	60																										
39			19.38		30	230																											
40			20.15																														
41			20.44	25	20	15	60																										
42			21.15		90	290																											
43			21.45	4	4	4	12																										
44			22.15			300																											
45			22.45	4	4	3	11																										
46			23.15			300																											
47			23.45	6	6	6	18																										
48			24.15			300																											
49			24.45	6	6	6	18																										
50			25.15			300																											

図3.2 ボーリング調査の結果

資料10

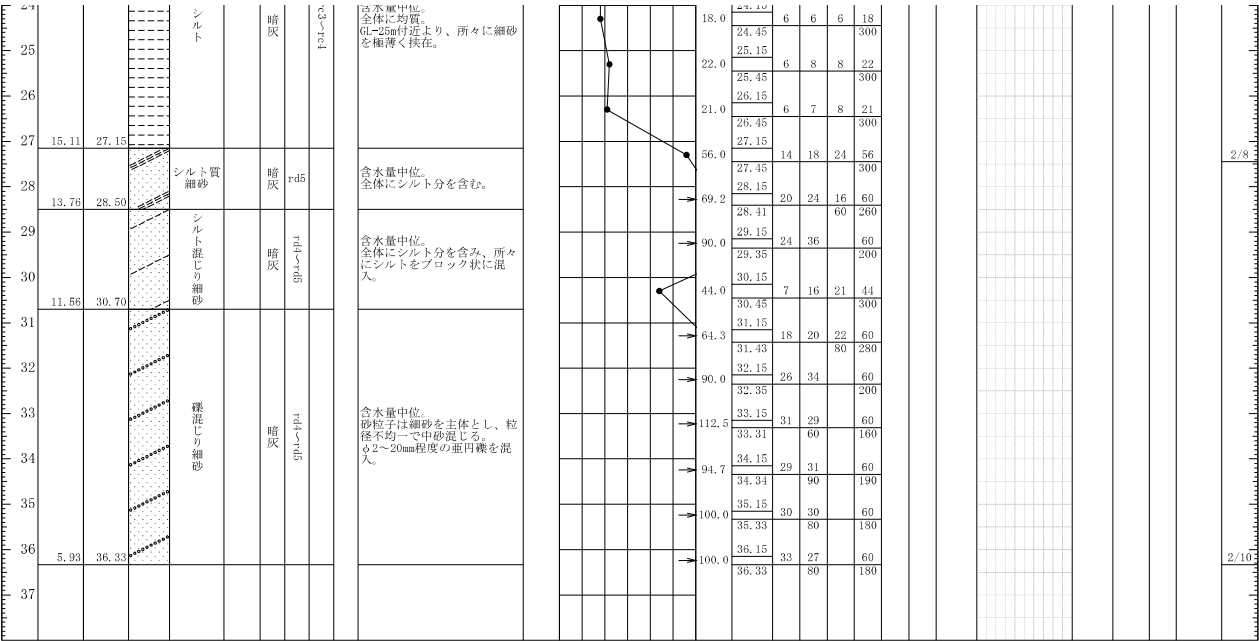


図3.2 ボーリング調査の結果
資料11

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名		深谷通信所跡地土質調査委託	
事業名または工事名			
調査目的及び調査対象			
ボーリング名	B-2	調査位置	神奈川県横浜市泉区和泉町・中田町・深谷通信所跡地
発注機関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和2年02月03日～令和2年02月04日
北緯	35° 23′ 39.4323″	東経	139° 29′ 58.0187″
孔口標高	H= 41.21 m	角	
総削孔長	18.00 m	度	0°
試験機	ワイビーエム YBM-05	エンジン	ヤンマー NFD-9
ポンプ	東邦地下工機 BG-3		

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験	原位置試験	試験採取	室内試験	削							
(m)	(m)	(m)							事		N 値	深 度	深 度	深 度	深 度	深 度						
				埋土		暗褐色		rc2	粘性土を主体とする。 所々にコンクリート片およびφ10～20mm程度の礫混入。 含水量中位。 GL-0.5m付近、コンクリートガラ混入。 GL-1m付近、淡緑灰色固結シルトを塊状に混入。 GL-2m付近、茶褐色のロームを混在。 GL-3m付近、レンガ片混入。	2/3 0.80		7.0	1.15	2	3	2	7					
1													1.45	2	1	2	1	4				
2													2.45	1	2	1	4	300				
3													3.15	2	2	2	6	300				
4													4.15	1	1	2	4	300				
5	36.31	4.90											4.45	5	5	7	17	300				
6													5.15	1	2	3	6	300				
7													6.15	1	2	3	6	300				
8													7.15	2	3	4	9	300				
9													8.15	4	3	4	11	300				
10													9.15	2	2	2	6	300				
11													9.45	1	2	3	6	300				
12													10.15	1	2	3	6	300				
13													10.45	1	1	2	4	300				
14													11.15	1	1	2	4	300				
15	26.46	14.75											12.15	1	1	2	4	300				
16													12.45	2	1	2	5	300				
17													13.15	6	7	6	19	300				
18	22.89	18.32											13.45	23	30	7	60	300				
19													14.45	27	27	6	60	300				
													15.15	27	27	6	60	300				
													15.38	27	27	6	60	300				
													16.15	27	27	6	60	300				
													16.37	27	27	6	60	300				
													17.15	50	10		60	300				
													17.25	10			110	300				
													18.15	32	28		60	300				
													18.32	70			170	300				

図3.2 ボーリング調査の結果

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名		深谷通信所跡地土質調査委託	
事業名または工事名			
調査目的及び調査対象			
ボーリング名	B-3	調査位置	神奈川県横浜市泉区と泉町・中田町・深谷通信所跡地
発注機関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和02年02月13日～令和02年02月17日
北緯		35° 23′ 44.6239″	
東経		139° 29′ 53.6470″	
孔口標高	H= 41.80 m	角	方
総削孔長	33.00 m	度	位
地盤勾配		使用機種	試錐機
エンジン		ヤンマー NFD-9	ポンプ
東邦地下工機 BG-3			

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験													原位置試験	試験採取	室内試験	削																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																													
											N	深	100mmごとの打撃回数の貫入量			50回の貫入量	深	試験及び結果	深	試験番号	採取方法																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
(m)	(m)	(m)							事		N 値	値	(m)	100	200	300		(m)		(m)							月	日																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																												
1			埋土			暗褐色／暗灰褐色／黒褐色／黒褐色／黄茶	rc1		粘性土を主体とする。 所々にコンクリート片およびφ10～20mm程度の礫混入。 含水量やや多い。 GL-0.8～1.0m間、コンクリートガラ混入。 GL-1.0mより、暗灰褐色を示す凝灰質シルト主体。 GL-2m付近より黒褐色を示す。 GL-2m付近、やや粘土質。 GL-3m付近、ビニール片混入。 GL-4m付近より黒褐色を示す。 GL-5m付近、黄茶色を示すローム主体。	2/13 1.90		4.0	1.15	1	2	1	4																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																							

図3.2 ボーリング調査の結果

資料13

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名		深谷通信所跡地土質調査委託	
事業名または工事名			
調査目的及び調査対象			
ボーリング名	B-4	調査位置	神奈川県横浜市泉区と泉町・中田町・深谷通信所跡地
発注機関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和02年02月07日～令和02年02月13日
北緯	35° 23' 58.9933"	東経	139° 30' 16.1652"
孔口標高	H= 42.78 m	角	180° 上 90° 下 0°
方位	北 0° 西 270° 東 90° 南 180°	地盤勾配	水平 90° 0°
使用機種	扶桑工業 KR-100HB	エンジン	ヤンマー TF-90
ポンプ	扶桑工業 V-6		
総削孔長	37.00 m		

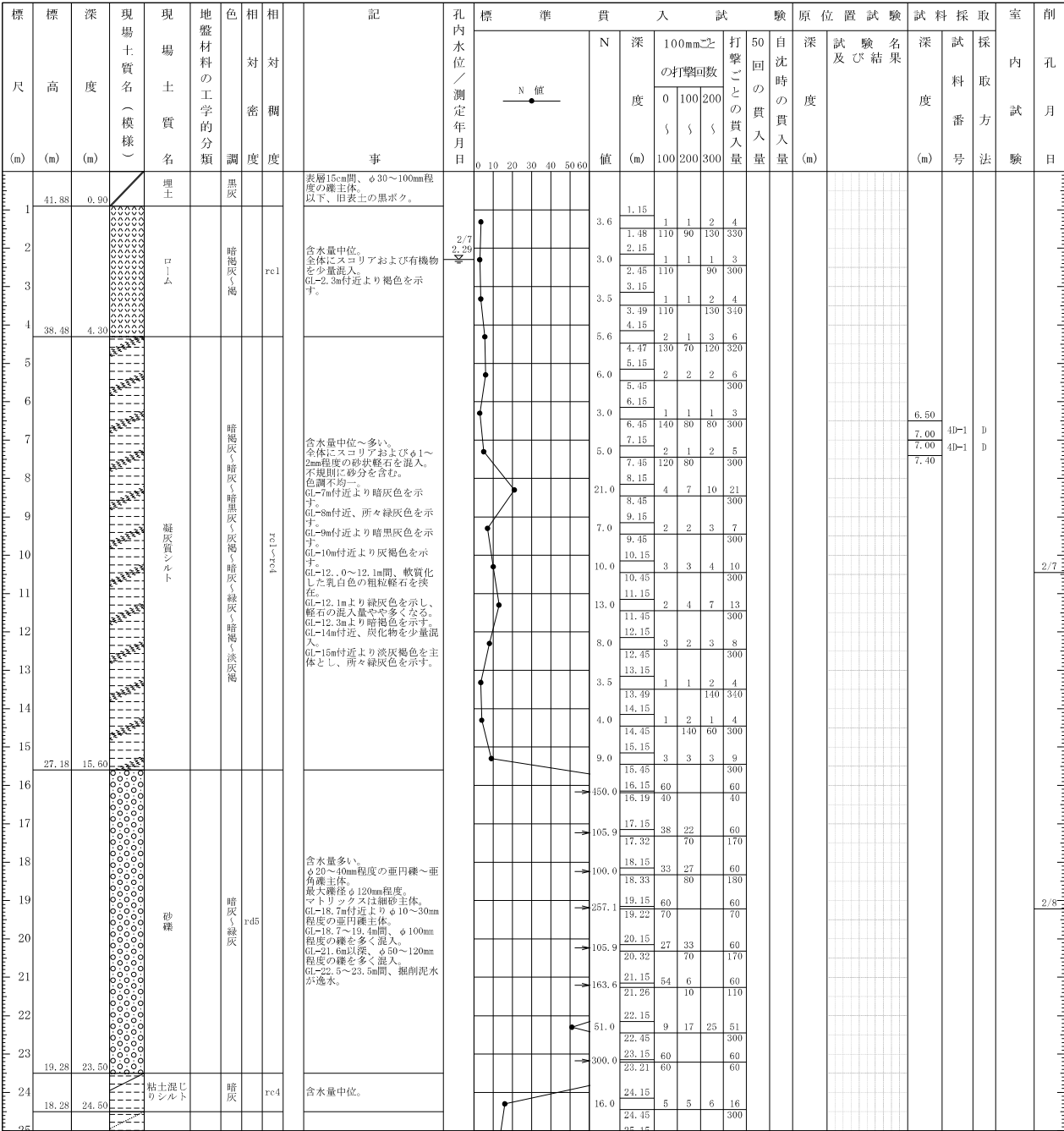


図3.2 ボーリング調査の結果

資料15

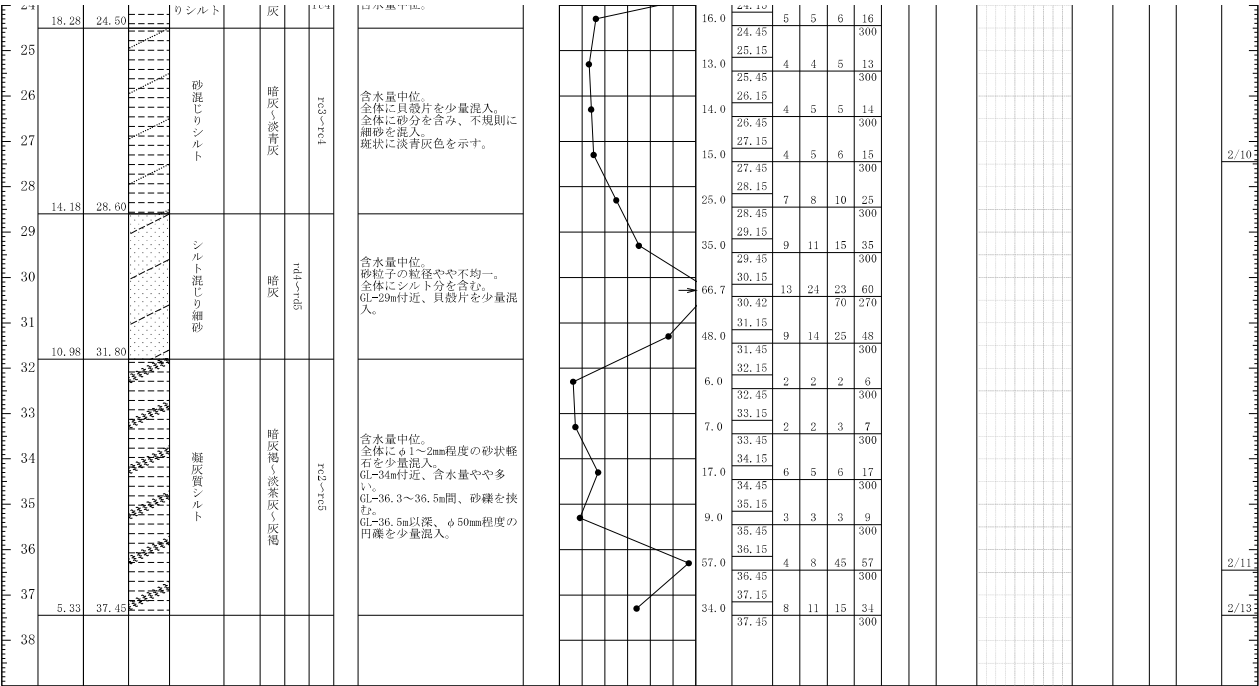


図3.2 ボーリング調査の結果
資料16

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-5		調査位置	神奈川県横浜市区泉区和泉町・中田町・深谷通所跡地			北緯	35° 23' 48.7370"	
発注機関	横浜市政策局 基地対策課				調査期間	令和02年02月07日～令和02年02月08日		東経	139° 29' 48.4854"
孔口標高	H= 41.30 m	角		方位		地盤勾配		使用機種	試錐機 東邦地下工機 D=0 エンジン ヤンマー TF-90
総削孔長	17.00 m	度	0°	位				ポンプ	東邦地下工機 BG-4

標	標	深	現場土質名(模様)	地盤材料の工学的分類	色	相対	相対	記号	孔内水位／測定年月日	標準	貫入試験	位置試験	試験採取	室内	削												
尺	高	度				密	稠				N	深	100mm以上の打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深	試験結果	深	試験番号	採取方法	内試	孔					
(m)	(m)	(m)				度	度	事			値	(m)	0 100 200 300	量	量	(m)		(m)	号	法	験	月					
1								粘性土を主体とする。 所々にφ5～20mm程度の礫混入。 含水量中位。 GL-2.5m付近まで暗茶褐色を示すローム主体。 GL-2.5m付近より暗褐色を示す凝灰質シルト主体。 GL-2.5～3.0m間、所々にφ50mm程度の礫混入。 GL-4m付近、ブロック状に淡緑灰色を示す。 GL-5m付近より黒褐色を示す。 GL-5m付近、φ1～2mm程度の黄灰色礫谷を少量混入。 GL-5.5～6.3m間、礫状に固結したシルトを多量に混入。 GL-6m付近、暗灰褐色を主体とし、ブロック状に淡緑灰色を示す。 GL-7m付近、ロームを主体とし、茶褐色と暗茶褐色が混在。 GL-8m付近、凝灰質シルトを主体とし、白灰および淡青灰色が混在。 GL-9m付近より黒褐色を示し、やや有機質。 GL-10m付近、含水量やや多い。 GL-11m付近、凝灰質粘土を主体とし、淡茶～淡黄灰を示す。	2/8 4.68 ≡		6.0	1.15 1.45 2.15	2	2	2	6											
2											5.0	2.45 3.15	1	2	2	5											
3											5.0	3.45 4.15	140	60	2	5											
4											3.5	4.49 5.15	1	2	1	4											
5											22.0	5.45 6.15	12	6	4	22											
6											1.9	6.47 7.15	1	1		2											
7											2.7	7.48 8.15	1	1	1	3											
8											5.0	8.45 9.15	2	1	2	5											
9											2.6	9.50 10.15	1	1	1	3											
10											2.0	10.45 11.15	170	130		300											
11											1.5	11.55 12.15	1	1		2											
12	29.75	11.55									0.0	12.47 13.15	320			320							2/7				
13											0.9	13.50 14.15	1			1											
14											1.9	14.46 15.15	1	1		2											
15	25.50	15.80									2.8	15.47 16.15	140	110	70	320											
16	25.05	16.25									50.0	16.45 17.15	8	17	25	50	300										
17	23.93	17.37									81.8	17.37	23	27	10	60							2/8				
18																											

図3.2 ボーリング調査の結果

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

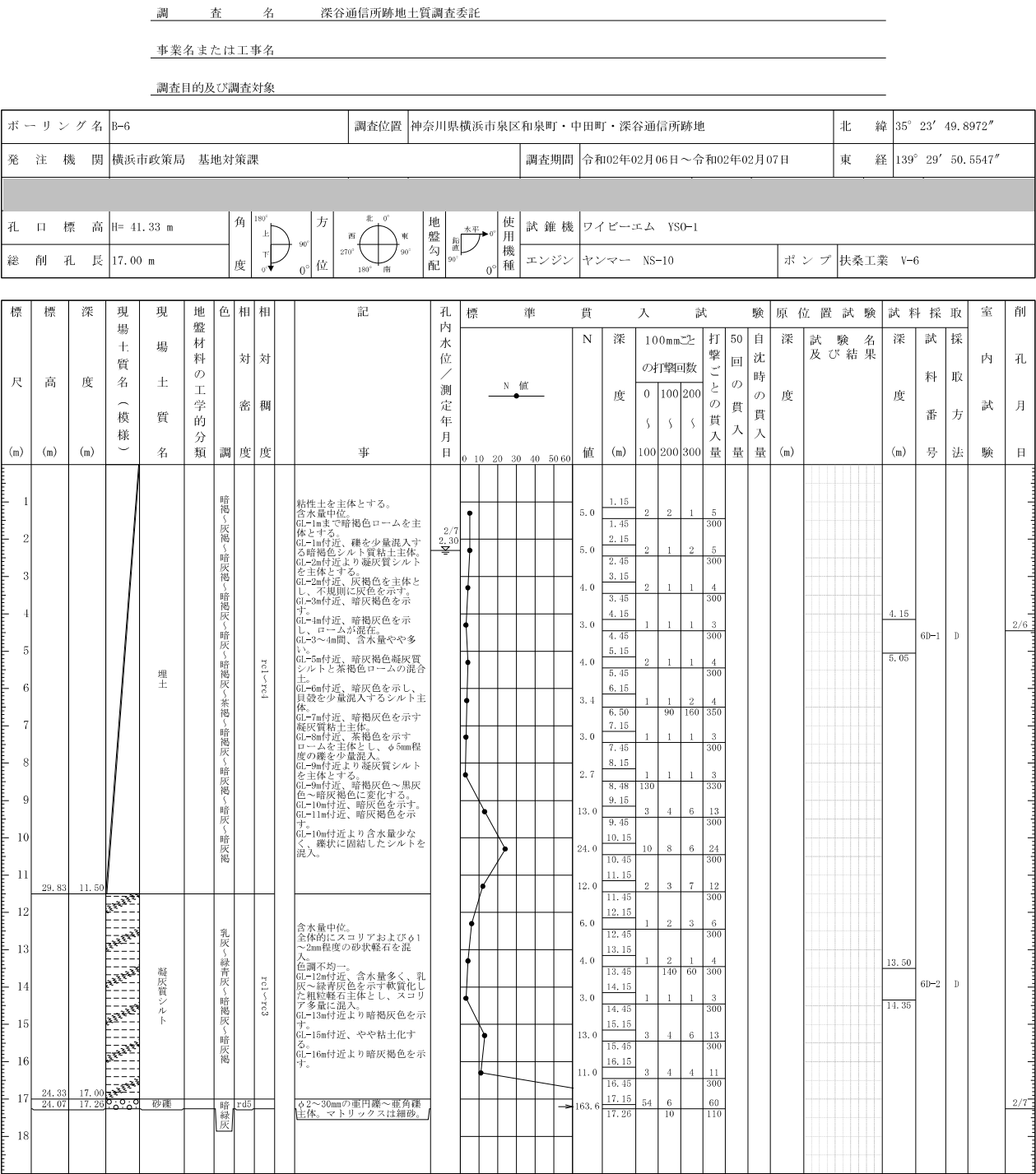


図3.2 ボーリング調査の結果

資料18

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名 深谷通信所跡地土質調査委託

事業名または工事名

調査目的及び調査対象

ボーリング名	B-7	調査位置	神奈川県横浜市泉区と泉町・中田町・深谷通信所跡地				北緯	35° 23′ 55.8353″			
発注機関	横浜市政策局 基地対策課			調査期間	令和02年02月20日～令和02年03月05日			東経	139° 29′ 56.3447″		
孔口標高	H= 41.95 m		方位		使用機種	試錐機				ワイビーエム YBM-1	
総削孔長	22.00 m					度		位置		エンジン	ヤンマー NFD-12

[illegible]

図3.2 ボーリング調査の結果

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

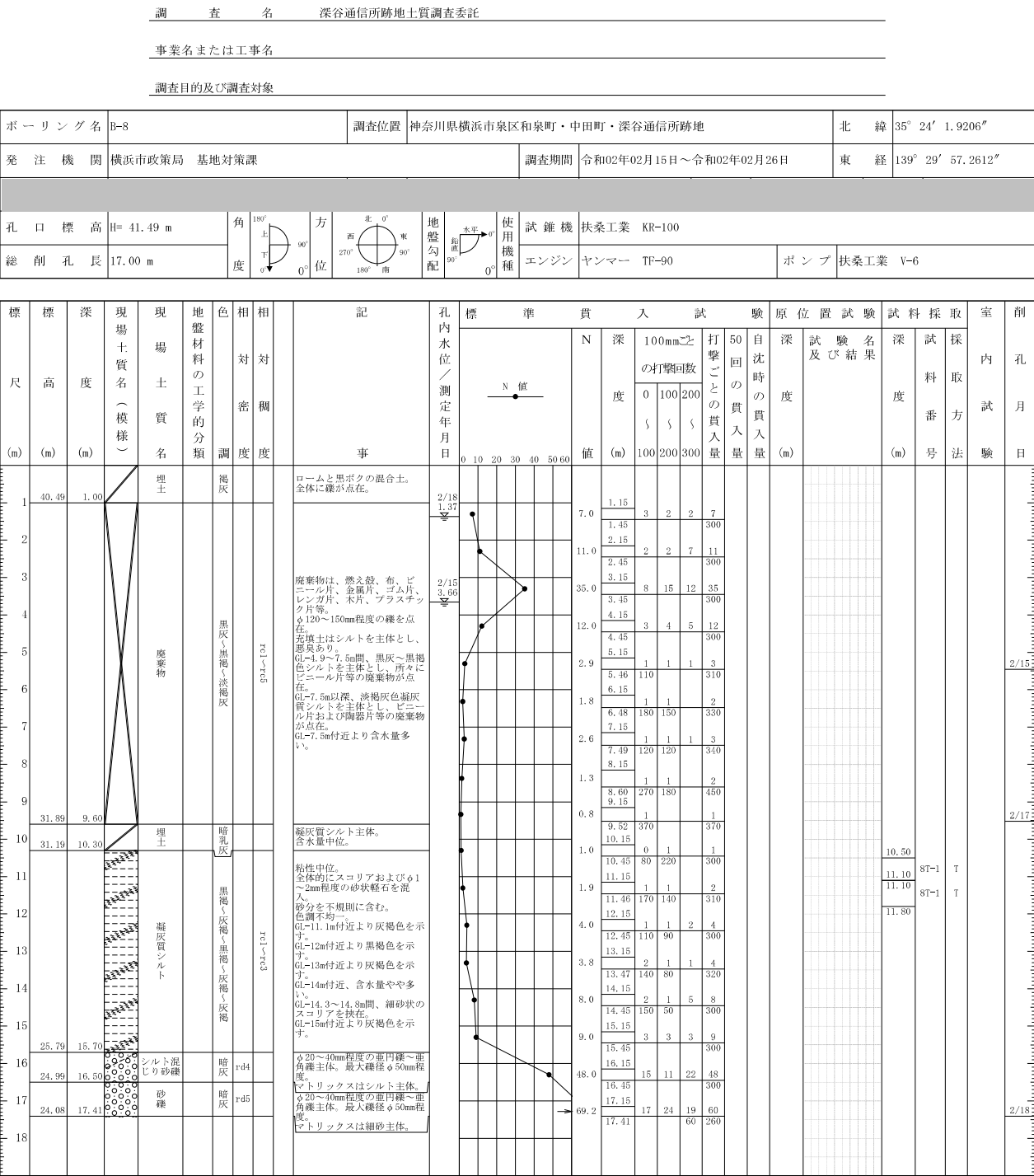


図3.2 ボーリング調査の結果

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

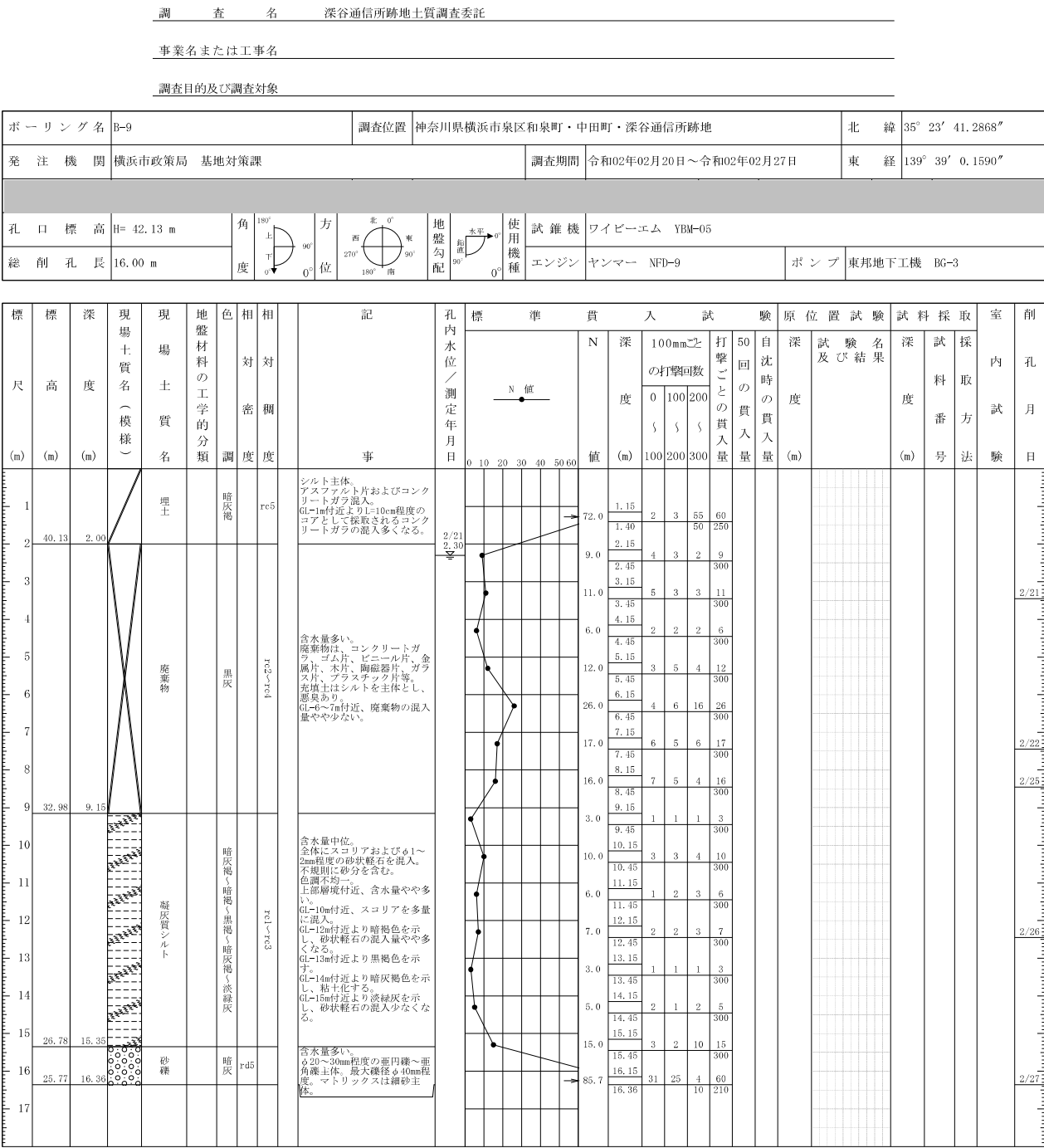


図3.2 ボーリング調査の結果
資料21

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

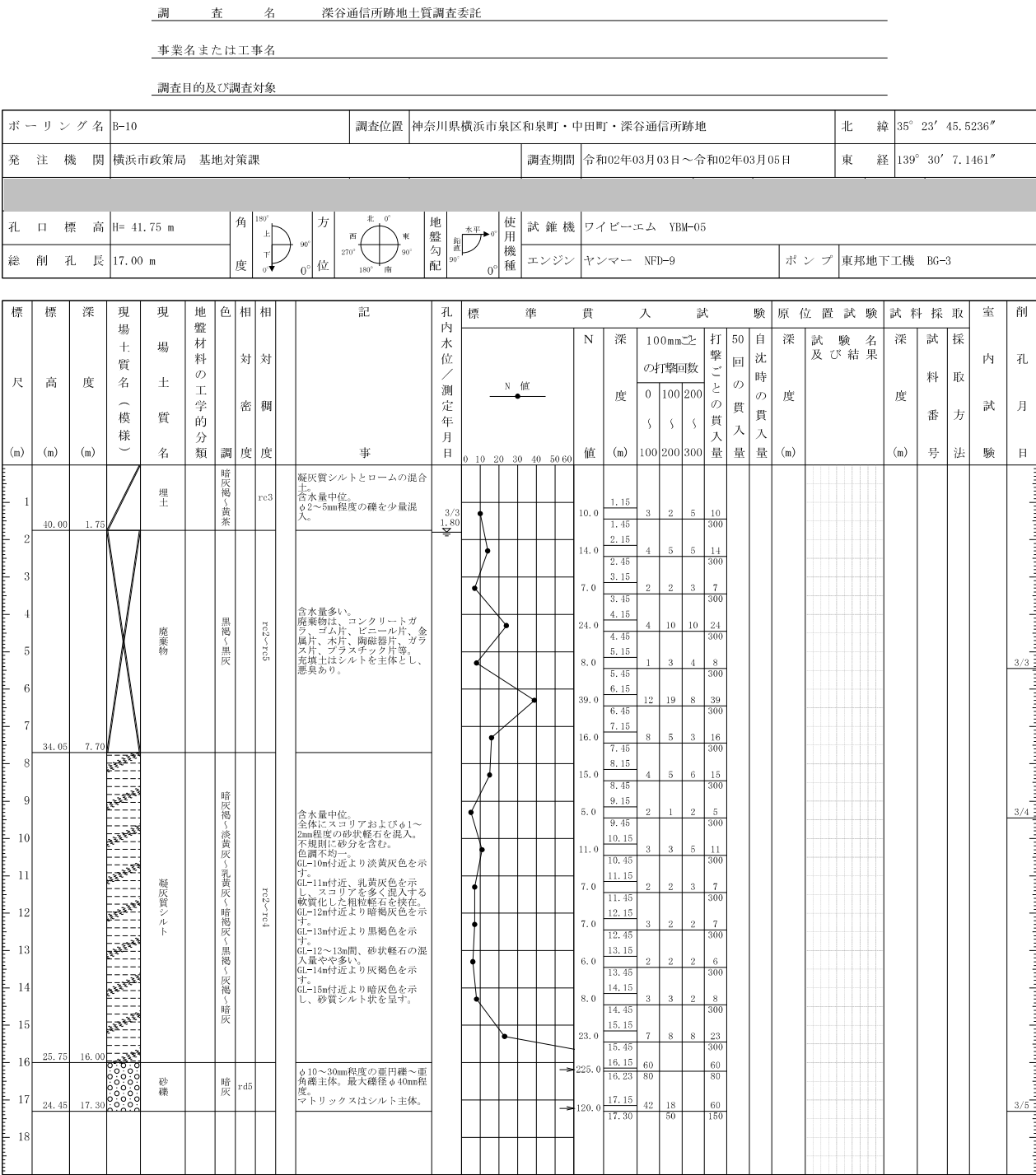


図3.2 ボーリング調査の結果
資料22

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名		深谷通信所跡地土質調査委託									
事業名または工事名											
調査目的及び調査対象											
ボーリング名	B-11	調査位置	神奈川県横浜市泉区と泉町・中田町・深谷通信所跡地		北 緯	35° 23′ 52.4598″					
発 注 機 関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和02年02月20日～令和02年02月26日		東 経	139° 30′ 17.1504″					
孔 口 標 高	H= 43.34 m	角		方 位		地盤勾配		使用機種	試 錐 機	ワイビーエム YBM-05	
総 削 孔 長	32.00 m	度						エンジン	ヤンマー TF-90	ポン プ	扶桑工業 V-5

標 尺	標 高	深 度	現 場 土 質 名 (模 様)	現 場 土 質 名	地 盤 材 料 の 工 学 的 分 類	色 相 対 密 度	相 対 密 度	記 事	孔 内 水 位 / 測 定 年 月 日	標 準 貫 入 試 験										原 位 置 試 験	深 度	試 験 名 及 び 結 果	深 度	試 料 採 取 方 法	室 内 試 験	削 孔 月 日
										N 値	深 度	100mmご の 打 撃 回 数	打 撃 こ と の 貫 入 量	50 回 の 貫 入 量	深 度	試 験 名 及 び 結 果	深 度	試 料 採 取 方 法	室 内 試 験							
(m)	(m)	(m)								0 10 20 30 40 50 60	N 値	(m)	100	200	300	(m)	(m)	号								
1	42.89	0.45		埋 土	暗 褐 色 / 褐 色 / 暗 褐 色	F2.1 ~ F2.2	F2.1 ~ F2.2	表層5cmはシルト主体。 0.05~0.15mm間、砕石主体。 以下、旧表土の黒ボク。	2/21 1.92		3.9	1.15	1	1	2	4	4.50	110-1	D							
2		1.46									80	130	310													
3		2.15									1	1	2	4												
4		2.48									90	90	150	330												
5		3.15									1	2	2	5												
6	37.59	5.75		凝 灰 質 シ ル ト	暗 褐 灰 / 暗 灰 / 暗 褐 灰 / 暗 灰 / 暗 褐 灰 / 暗 灰 / 暗 褐 灰 / 暗 灰 / 暗 褐 灰 / 暗 灰 / 暗 褐 灰 / 暗 灰 / 暗 褐 灰 / 暗 灰 / 暗 褐 灰 / 暗 灰	F2.1 ~ F2.3	F2.1 ~ F2.3	含水量中位。 全体にスコリアを少量混入。 不規則に砂分を含む。 色調不均一。 GL-4m付近より暗褐色を示す。 GL-7m付近より暗褐色を示す。 GL-8m付近より暗褐色を示す。 GL-9m付近より暗褐色を示す。 GL-11m付近より灰褐色を主体に所々暗緑灰色を示す。 GL-12.0~12.35mm間、乳白色の軟質化した粗粒の軽石を挟在。 GL-14m付近より暗褐色を示し、細粒軽石の混入量やや多くなる。 GL-15m付近より暗褐色を示す。 GL-16m付近より暗褐色を示し、含水量やや多い。		2.0	5.45	170	130	300	5.40											
7		6.15								1	1	1	3													
8		6.53								150	130	380														
9		7.15								1	1	1	3													
10		7.46								120	110	80	310													
11		8.15								2	5	3	10													
12		8.45											300													
13		9.15								2	2	2	6													
14		9.47								120			320													
15		10.15								2	2	4	8													
16		10.45											300													
17		11.15								2	3	7	12													
18		11.45											300													
19		12.15								2	2	4	8													
20		12.45								120	80		300													
21		13.15				300																				
22		13.47	120	110	90	320																				
23		14.15	1	1	1	3																				
24		14.46	2	2	2	6																				
25		15.15	2	2	2	6																				
26	27.14	16.20		シル ト 混 じ り 砂 礫	暗 青 灰	rd5	rd5	φ10~20mm程度の亜円礫~亜角礫主体。最大礫径φ30mm程度。マトリックスはシルト主体。		72.0	16.40	7	32	21	60	2/22										
17	26.59	16.75								128.6	17.15	47	13	60												
18										17.29	40		140													
19										18.15	38	22	60													
20										18.31	60		160													
21										19.15	33	27	60													
22										19.33	80		180													
23										20.15			300													
24										57.0	18	15	24	57												
25										105.9	20.45	34	26	60												
26	21.34	22.00		シル ト 混 じ り 砂 礫	暗 緑 灰	rd4	rd4	φ10~20mm程度の亜円礫~亜角礫主体。最大礫径φ30mm程度。マトリックスはシルト主体。		36.0	21.32	12	12	12	36											
27	20.44	22.90								22.45			300													
28										23.15	4	4	4	12												
29										23.45			300													
30										24.15	4	6	6	16												
31				シル ト	暗 灰 / 灰	F2.1 ~ F2.2	F2.1 ~ F2.2	含水量少ない。 GL-23m付近、全体に砂分を少量含む。 GL-24m付近より灰色を示す。		16.0	24.45	4	6	6	16											
32										25.15			300													

図3.2 ボーリング調査の結果

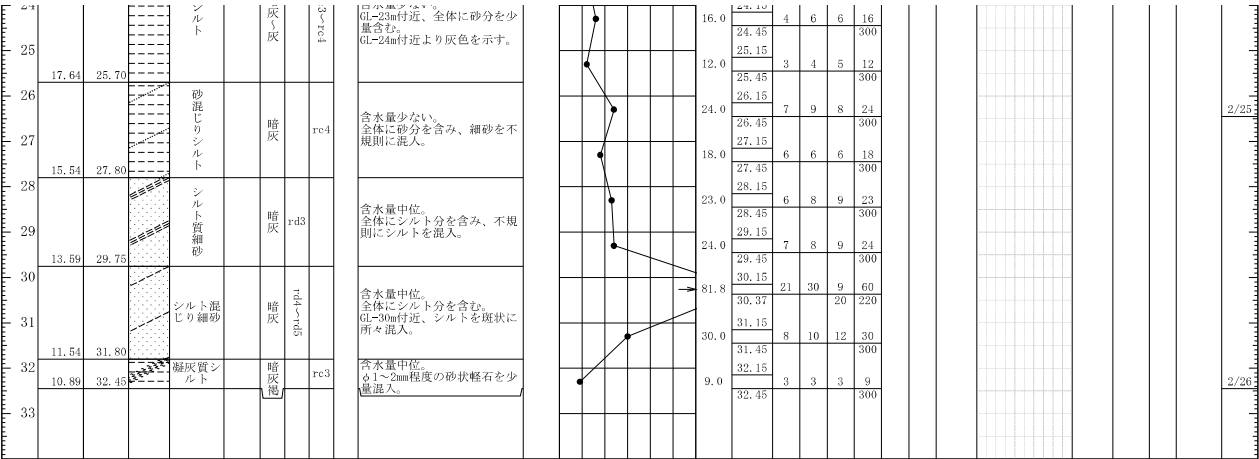


図3.2 ボーリング調査の結果
資料24

土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調 査 名		深谷通信所跡地土質調査委託									
事業名または工事名											
調査目的及び調査対象											
ボーリング名	B-12	調査位置	神奈川県横浜市泉区と泉町・中田町・深谷通信所跡地		北 緯	35° 23′ 50.4464″					
発 注 機 関	横浜市政策局 基地対策課	調査期間	令和02年02月13日～令和02年02月15日		東 経	139° 29′ 57.3944″					
孔 口 標 高	H= 42.29 m	角		方 位		地盤勾配		使用機種	試 錐 機 東邦地下工機 D-0		
総 削 孔 長	33.00 m	度	0°	270°	180°	90°	0°	エンジン	ヤンマー TF-90	ポン プ	東邦地下工機 BG-3

標尺	標高	深度	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色	相対密度	相対稠度	記 事	孔内水位／測定年月日	標準貫入試験										原位置試験	深 度	試験及び結果	深 度	試験番号	採取方法	室内試験	削 孔 月 日			
											N 値	深 度	100mmごとの打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度	試験及び結果	深 度	試験番号	採取方法									室内試験	削 孔 月 日	
(m)	(m)	(m)									0 10 20 30 40 50 60	N 値	深 度	100mmごとの打撃回数	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深 度	試験及び結果	深 度	試験番号	採取方法	室内試験	削 孔 月 日								
1	40.99	1.30		埋土		暗褐色			ロームと黒ボクの混合土。 有機物少量混入。 表面は礫を少量混入。	2/13 1.85		2.0	1.35	1	1	2															
2				ローム	茶褐色	rel			含水量中位。 全体にスコリアおよび有機物を少量混入。		4.0	1.65 2.15	200	1	1	2	4														
3											2.0	2.45 3.15	1	1	1	2															
4	38.04	4.25									3.0	3.45 4.15	200	1	1	1	3														
5				凝灰質シルト		茶褐色 暗褐色 淡灰色 灰色 暗灰色 暗黄灰色 乳白 暗緑色 暗黄褐色 暗褐色	rd12		含水量やや多い～中位。 全体にスコリアおよびφ1～2mm程度の砂状軽石を混入。 不規則に砂分を含む。 色調不均一。 GL-5m付近より暗褐色を示す。 GL-6m付近より淡灰色を示す。 GL-7m付近より灰色を示す。 GL-8m付近より灰色を主体に不規則に黄褐色を示す。 GL-5～8m間、含水量やや多い。 GL-9m付近より暗褐色を示す。 GL-10m付近より暗褐色を示す。 GL-11m付近より暗灰色を示す。 GL-12.0～12.25m間、スコリアを多量混入する乳白色の軟質化した粗粒軽石を挟む。 GL-12.25m付近より暗緑灰色を示す。 GL-13m付近より黄褐色を示す。 GL-14m付近より暗褐色を示す。 GL-15m付近、やや粘土化している。 GL-16m付近より暗褐色を示す。		5.0	4.45 5.15	1	2	2	5															
6											1.0	5.45 6.15	1			1															
7											1.7	6.45 7.15	300			300															
8											10.0	7.50 8.15	250			350															
9											5.0	8.45 9.15	2	4	4	10															
10											7.0	9.45 10.15	1	2	2	5															
11											9.0	10.45 11.15	2	3	2	7															
12											5.0	11.45 12.15	2	2	5	9															
13											3.0	12.45 13.15	1	2	2	5															
14											5.0	13.45 14.15	1	1	1	3															
15											9.0	14.45 15.15	1	2	2	5															
16	25.69	16.60									10.0	15.45 16.15	2	3	4	9															
17	24.59	17.70	43.0	16.45 17.15	4	3	3	10																							
18			112.5	17.45 18.15	13	14	16	43																							
19			128.6	18.31 19.15	34	26	60	160																							
20			138.5	19.29 20.15	41	19	40	140																							
21			128.6	20.28 21.15	40	20	30	130																							
22			∞	21.29 22.00	35	25	60	140																							
23			105.9	22.00 23.15	貫入不能	60	0																								
24	17.69	24.60	55.0	23.32 24.15	21	39	70	170																							
25				24.45 25.15	15	16	24	55																							

図3.2 ボーリング調査の結果

資料25

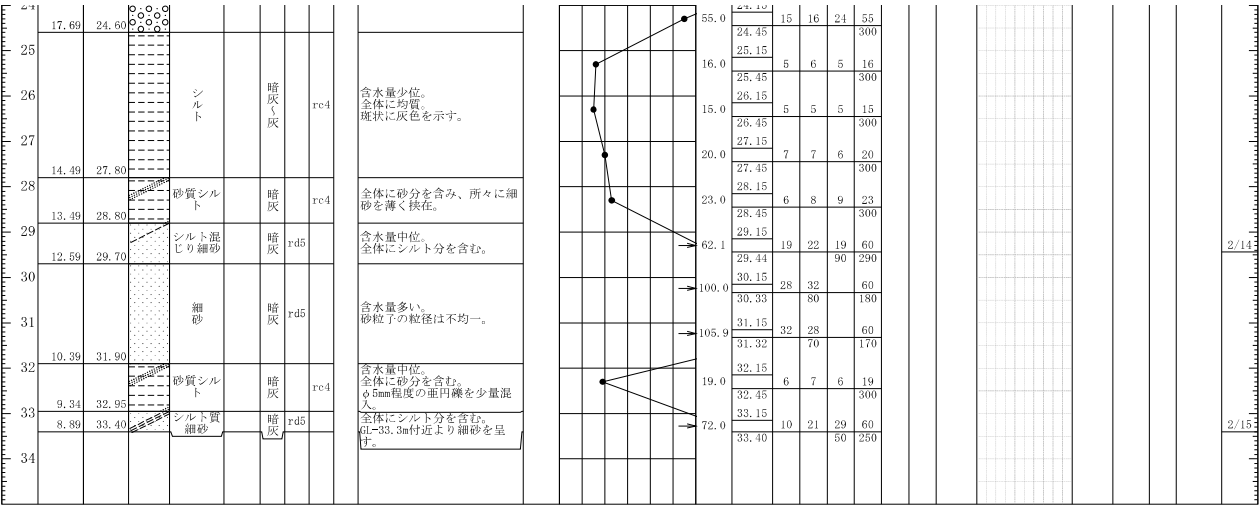


図3.2 ボーリング調査の結果
資料26